

# 東日本ユニオン よこはま

J R 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/ 松田 和秀  
編集者/ 教育広報部

## 2018春闘 妥結する!!

2018 春闘回答を経営側より受け、この悔しさを次へとつなぐ決意をもって妥結する旨を通告しました。

### 本部見解

今 2018 春闘回答は、私たちの要求と大きくかけ離れていることやベースアップの計算式が「パーセント」により、職制による格差や低額に上げ幅が抑えられていることから、納得のいくものではありませんでした。その一方で、定期昇給の実施及び4係数、ベースアップを実施したことと、若手に手厚くしたこと、グリーンスタッフの賃金改善を図ったことは評価するものです。

今 2018 春闘は、J R 東労組の崩壊にも大きく影響を受け、経営側を一層強くさせてしまった中での回答となりました。わたしたち東日本ユニオンは、2018 春闘を運動の中心に据えてきたことからすれば、今回「低額」「%」という回答を生み出してしまったことを、J R 東労組だけの責任とするのではなく、労働側の敗北であることを認めることから立ち上がり奮起していくことを認識することが求められると考えます。

2019 年春闘にむけて、これからの一年間、東日本ユニオンの運動の強化と組織の拡大を実現しなければなりません。長野、千葉、横浜、新潟と各地で組織拡大が続いています。ここから、2000 名組織の実現、さらに 3000 名へと実現していくためのスタートと位置付け、東日本ユニオンが J R 労働者から選択される労働組合となるよう 12 地本が一丸となって進んでいくことを決意し、妥結する判断に至りました。

労働条件の向上にむけた取り組みは終わりではありません。引き続き、私たち東日本ユニオン運動を広め、組織拡大のうねりをすべての職場へと大きくつくりだしていきましょう。

**仲間・組織を想う労働組合らしく組合員のための運動を、  
しっかりと会社とたたかえる労働組合の運動を、  
全組合員の実践で次のたたかいに向け、  
更に強く作り出そう!**

